

経営比較分析表（令和2年度決算）

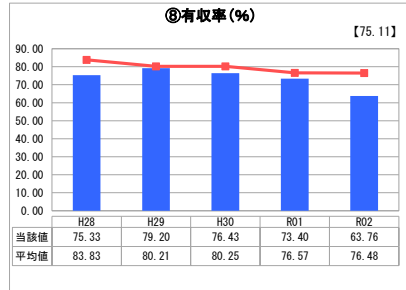
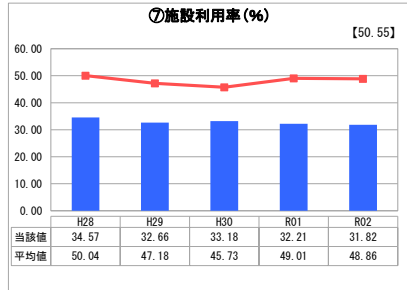
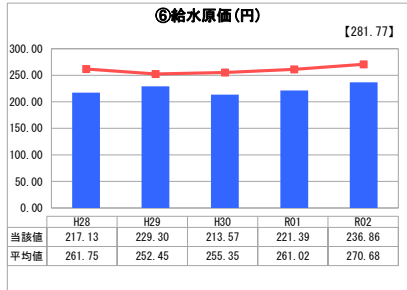
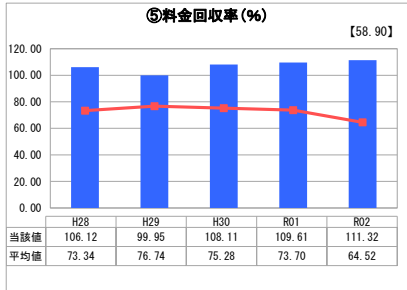
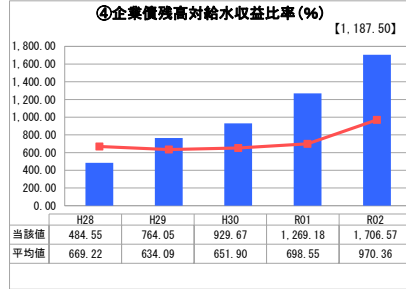
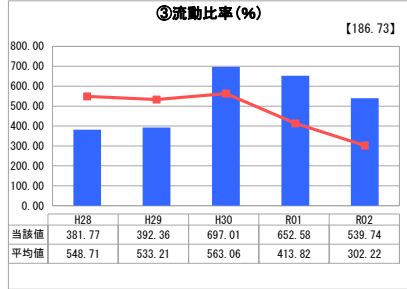
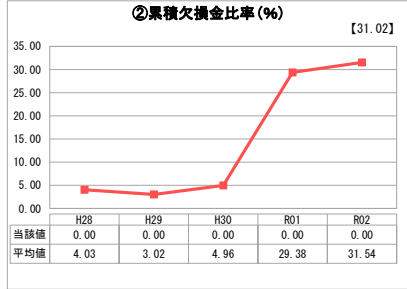
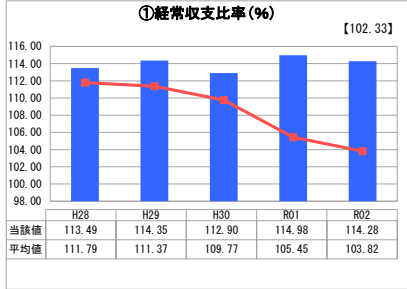
北海道 上川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	27.85	92.74	4,510	

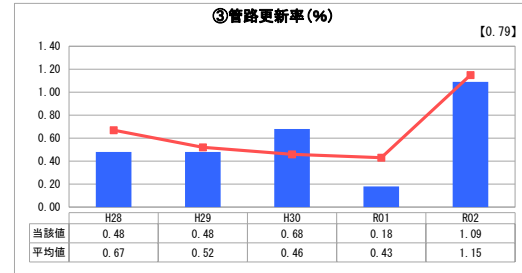
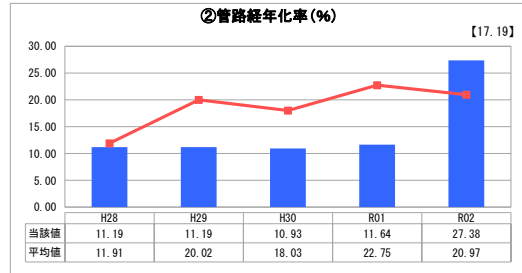
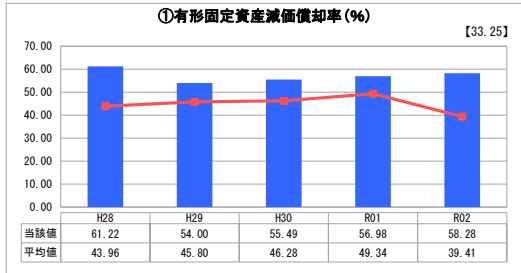
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,398	1,049.47	3.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,119	3.60	866.39

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度より末端給水事業から簡易水道事業へ移行し事業を実施している。
平成26年度の料金改定を機に経営収支比率・料金回収率が上昇し、その後も継続した数値となっているが、将来的な施設等更新に係る財源確保のため、料金の見直しは検討を続ける。
有収率については、年々減少傾向にあるため、漏水調査及び計画的な老朽管更新により、有収率の向上を図る必要がある。
浄水場更新事業・給水区域拡大事業などにより、債務残高が上昇したため、経営の健全化に向けた取り組みを進める。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率が上昇しており、今後も上昇していくとみられる。
経営状況を鑑みながら、優先度の高い老朽管の計画的な更新を行っていく。

全体総括

浄水場更新が完了し、企業債残高が上昇しているため、経営の健全化を重視しながら、必要な老朽化に対する更新計画を実施していきたい。